

Joie™

ECE R129/01

適応身長 40cm-85cm/ 適応体重 13kgまで

ジョイー・ISO-FIX インファントチャイルドシート

**i-Level™**

infant child restraint

取扱説明書／保証書



ECE R129/01: C,D  
i-Size universal ISOFIX

## もくじ

はじめにお読みください	4
本書の保管について	4
ユーザー登録のお願い	4
インファントチャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
本製品について	6
ISO-FIX ベースについて	6
自動車との適合について	7
本製品の重要な情報	7
表記の説明	9
危険・警告・注意の表記について	9
強調・禁止の表記について	9
その他の表記について	9
本取扱説明書で使用するイラストについて	10
内容物の確認	11
各部の名称	12
本製品の各部の名称	12
自動車に関わる各部の名称	13
使用できるお子さまの条件	14
自動車の座席への取り付けに関して	15
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	15
取り付け、使用できない座席	16
使用上の注意事項	20
緊急時の操作	34
最初に操作してください	35
ベビーシートの使いかた	36
ベビーシートとは	36
キャリーハンドル	37
キャンピー	39
開閉操作	39
拡張	39
取り外し/取り付け	40
バックル	41
ハーネス	43
ヘッドレスト・ハーネス(肩ベルト)の高さ調節	44

新生児パッド	45
リクライニング	48
ISO-FIX ベースのシート(座席)への取り付け/取り外し	49
取り付けかた	49
取り外しかた	58
ベビーシートの取り付け/取り外し	60
取り付けかた	60
取り外しかた	63
お子さまの乗せかた	64
ベビーシートの調整	64
キャリーハンドルの調整	64
ハーネスの装着	65
お手入れのしかた	69
パッド・カバー類の取り外し	70
パッド・カバー類のお手入れ	76
樹脂・金属のお手入れ	78
樹脂部分	78
金属部分	78
ISO-FIX コネクタ・ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント・ベビーシートの取り付けバーのお手入れ	79
ハーネス・バックルのお手入れ	80
ハーネス	80
バックル	80
保管のしかた	81
廃棄のしかた	81
保証書	

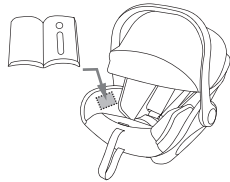
## はじめにお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

### 本書の保管について

あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品のベビーシートのカバー内に常備して必要なときにいつでも参照できるようにしておいてください。



参照 P75 ▶ポイント

### ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、**直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。**

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

## インファントチャイルドシートについて

インファントチャイルドシート（チャイルドシート）は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適合しない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

### 使用に関するアドバイス

お子さまにチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

## 本製品について

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE R129/01 に適合したチャイルドシートです。

本製品の使用にあたって、本書および自動車の取扱説明書の記載をよく読み、これらが指示する手順に従って正しくお使いください。

本製品は、i-Size ISO-FIX 固定の規格に準じています。この規格に準じて使用するには、ECE R129/01 の規定に従い、以下の条件のお子さまに使用していただけます。

**お子さまの身長：40cm~85cm**

**お子さまの体重：13kg まで（目安の年齢 1.5 歳まで）**

※年齢は目安です。お子さまの身長、体重の条件に従ってください。

## ISO-FIX ベースについて

本製品は、自動車の座席に取り付ける ISO-FIX ベースと、ISO-FIX ベースに取り付けるベビーシートで構成されています。

本取扱説明書では、これらの使用方法について説明しています。

ISO-FIX ベースには、当社が取付可能と明示する、他のベビーシートを取り付けることができます。



**危険**

### 対応外のベビーシートを取り付けないこと

本製品の ISO-FIX ベースには、当社が使用可能と明確に指示していないベビーシートを絶対に取り付けないでください。

事故や衝撃を受けた際に、ベビーシートが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 自動車との適合について

本製品は、多くの自動車の座席に取り付けることができますが、全ての車種、座席に取り付けることができないとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、取り付けが可能か確認するようにしてください。

本製品が取り付けできる可能性のある、汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

<https://www.katoji.co.jp>



**危険**

### 取り付けの方法を守ること

本製品は、汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した自動車の座席に取り付けが可能です。シートベルトのみでの取り付けや、その他の方法により本製品を取り付けることはできません。

## 本製品の重要な情報

本製品は、i-Size (Integral Universal ISOFIX Child Restraint Systems) に対応したチャイルドシートです。本製品は、i-Size シートポジションに対応した自動車の座席に取り付けて使用することができます。

自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と記載されている座席に取り付けて使用することができます（次ページに記載のポイントを参照してください）。

本製品は、ECE R129/01 基準に適合したチャイルドシートです。

本製品は、ユニバーサル ISO-FIX のクラス C,D に該当するチャイルドシートであり、ISO-FIX 固定バーに取り付けてのみ使用することができます。

本製品の取り扱いにつき、疑問がある場合は、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店に、本製品が i-Size 対応のチャイルドシートである事を伝え、お問い合わせください。

### **ポイント！**

自動車の取扱説明書において、i-Size のチャイルドシートに関する記載がない場合がありますが、車種によっては、本製品を取り付け可能な場合があります。i-Size への対応について疑問がある場合は、お車のメーカー、またはお車の販売店（ディーラー）にお問い合わせください。

製品の種類 チャイルドシート

主な原材料 樹脂・金属・繊維




パテント番号 特許出願中

サイズ等級 C,D



## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


### 危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 <b>危険</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 <b>警告</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 <b>注意</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

### その他の表記について

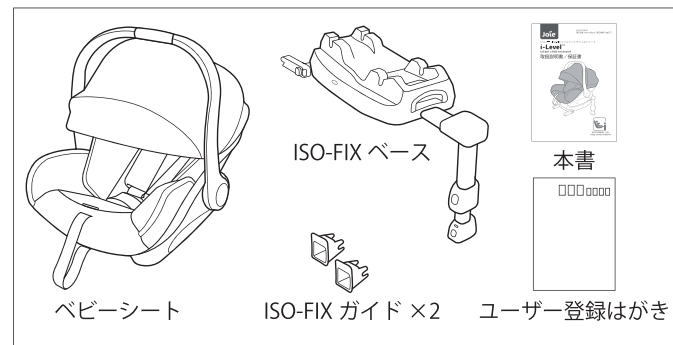
表記	表記の内容
 <b>ポイント！</b>	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

## 本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張、割愛等をおこなっていますので実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

## 内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



### ⚠ 警告

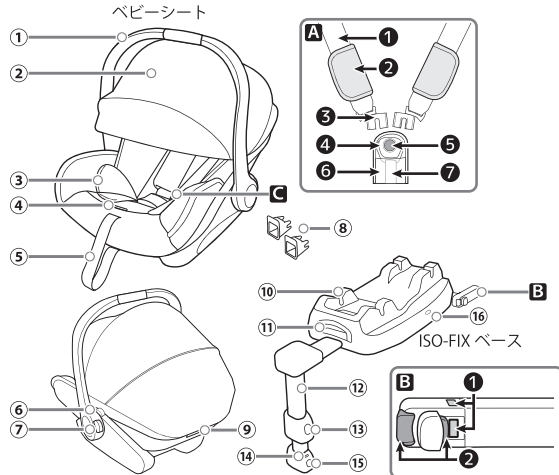
#### 窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

## 各部の名称

### 本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

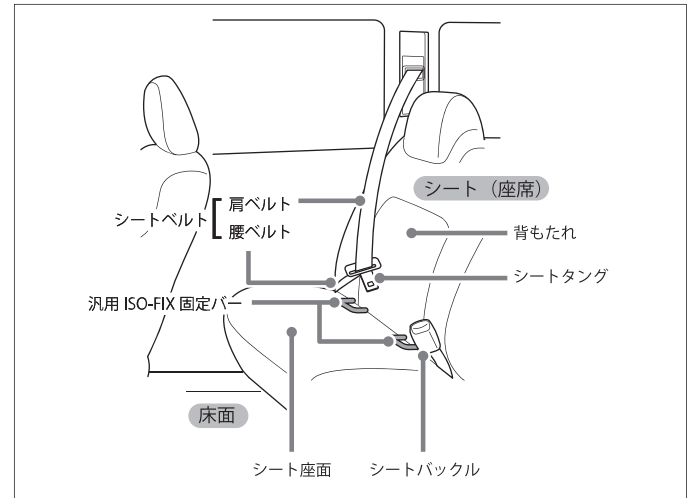


- ① キャリーハンドル
- ② キャンビー
- ③ 新生児パッド
- ④ ベルトアジャスター
- ⑤ アジャストベルト
- ⑥ ベビーカー接続ボタン
- ⑦ ハンドルボタン
- ⑧ ISO-FIX ガイド
- ⑨ リクライニングレバー
- ⑩ チャイルドシートマウント
- ⑪ リリースレバー
- ⑫ サポートレッグ
- ⑬ レッグアジャストボタン
- ⑭ サポートレッグインジケータ
- ⑮ アジャストボタン
- ⑯ インジケータ

- A** バックル/ハーネス
- ① 肩ベルト (ハーネス)
  - ② 肩ベルトパッド
  - ③ 差込タンク
  - ④ 受けバックル
  - ⑤ バックルボタン
  - ⑥ 股ベルトパッド
  - ⑦ 股ベルト
- B** ISO-FIX コネクター
- ① インジケータ
  - ② リリースボタン

## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



### ポイント!

お車の取扱説明書においては、別の名称にて記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

## 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE R129/01 に適合したチャイルドシートであり、以下の条件にあてはまるお子さまにご使用いただけます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

**お子さまの身長：40cm~85cm**

かつ

**お子さまの体重：新生児\*~13kg まで（目安の年齢 1.5 歳まで）**

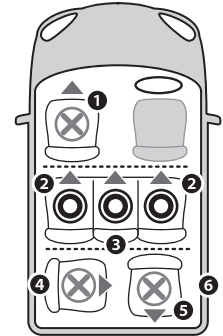
※年齢は目安です。お子さまの身長、体重の条件に従ってください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

## 自動車の座席への取り付けに関して

### 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 . . . . . 取付使用不可
- ② 2 列目左右ドア側席 . . . 取付使用可能
- ③ 2 列目中央席 . . . . . 取付使用可能
- ④ 進行方向横向きの座席 . . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可
- ⑥ 3 列目以降の座席 . . . . . 取付使用不可



### ⚠ 危険

#### 取り付け条件を守ること

上記の座席（シート）全てに取り付け、使用可能とは限りません。  
 上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。  
 この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。



## 取り付け、使用できない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

### ⚠危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### ISO-FIX 固定バーの装備されていない座席

本製品は、i-Size に適合した自動車の座席に取り付けて使用することができます。また、汎用 ISO-FIX 固定バーが装備されている自動車の座席にも取り付けることはできますが、ISO-FIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の「汎用 ISO-FIX 固定バー」が装備された座席でのみ取り付け可能です。お車の取扱説明書をご参照ください。



#### フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用できません。本製品は、後部座席に取り付けて使用してください。



#### 適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または座席

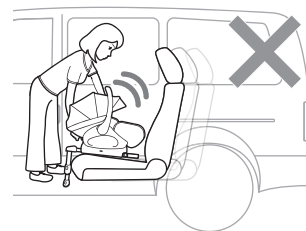
適合車種一覧で、取り付け不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、すべての座席に取り付け可能とは限りません）には取り付けできませんので、ご使用前に必ずご確認ください。

### ⚠危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

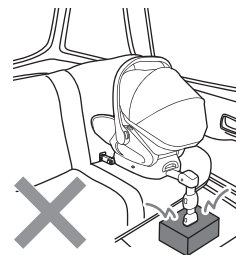
#### 本製品の取り付け中に移動する座席には取り付けしないでください

ISO-FIX ベースの取り付け操作、ベビーシートの取り付け操作、お子さまの乗せ降ろし操作時に、座席が前後に移動したり、回転したりすると危険です。このような座席には取り付けしないでください。



#### 床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



#### 本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

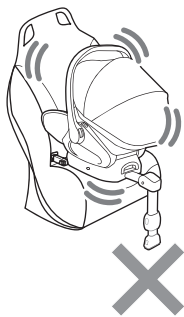
本製品を取り付けることにより、自動車の操作に影響をおよぼさない事を予め確認した上で、取り付け、使用してください。

## ⚠危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

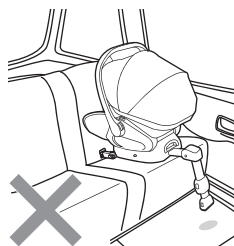
### 本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、本製品のサポートレッグが接地しない座席の高い座席、本製品のベースが浮く座席の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



### その他、しっかりと取り付けられない座席

本製品は、座席の形状やサイズ、角度、座席のシートベルトの長さ、シートベルトのバックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがってもしっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しないなど、正常に取り付け、使用ができない座席では、使用しないでください。



### 助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

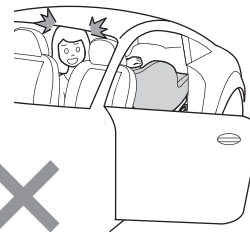
## ⚠危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 乗員の脱出に影響を与える座席

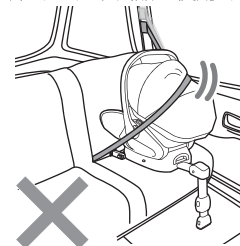
片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



### パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



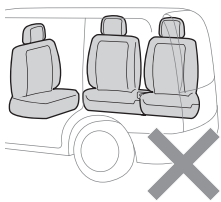
## ⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。



## 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

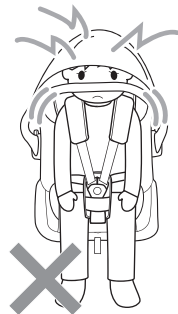
## ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 使用条件を厳守すること

本製品は、ECE R129/01 基準に適合したチャイルドシートです。この基準により、使用できるお子さまの条件と本製品の取り付け、使用方法が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品を使用できるお子さまは、**身長 40cm から 85cm まで、かつ、体重 13kg まで**、と定められています。



### ハーネスを正しく使用すること

ハーネス（本製品のお子さまを拘束するベルト類）が正しく使用されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまがチャイルドシートから飛び出したり、過度な負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

バックルをしっかりと留め、ハーネスは、ゆるみなく、お子さまにフィットするように調整し、ねじれがないようにしてお使いください。



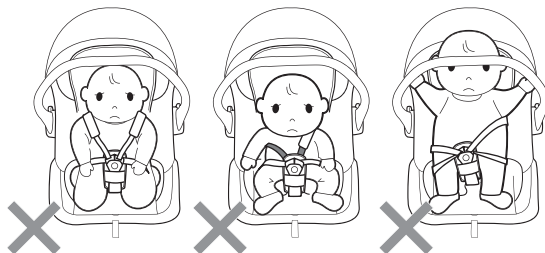
## ⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### お子さまを正しく固定して使用すること

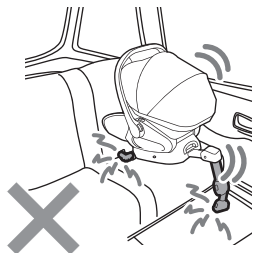
本取扱説明書の記載に従い、正しく調整して、正しくお子さまを固定してください。必ず本取扱説明書を確認して正しく調整して、正しい方法でしっかりと固定してください。

本取扱説明書にない方法で使用したり、ハーネスを間違っ使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



### 本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合、絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。自動車の座席の汎用 ISO-FIX 固定バーや本製品の ISO-FIX ベースの ISO-FIX コネクタ、サポートレッグ、ベビーシートと ISO-FIX ベースの接合部に異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。



## ⚠危険

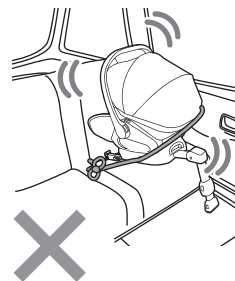
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 指定する方法以外での取り付け、使用をしないこと

本製品は、ISO-FIX により固定します。自動車の 3 点式シートベルトは使用しません。その他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。

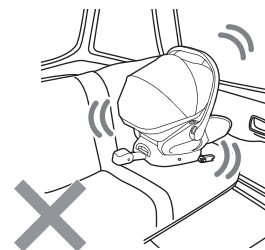
また、本製品を正しく取り付けた上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書の指示にない方法で取り付け、使用をしないでください。



### 指定以外の向きで自動車のシートに取り付け、使用をしないこと

横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。

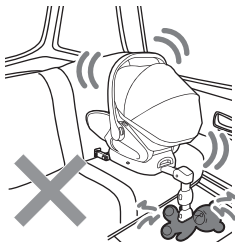


## ⚠️ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

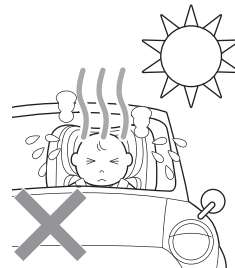
### サポートレグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレグは、安全上大変重要な部品です。サポートレグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレグの下に物を置かないでください。また、サポートレグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレグの周囲、特にサポートレグの前に物を置かないようにしてください。



### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



### お子さまを乗せたまま本製品を高い場所に置かないこと

本製品やお子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。ベビーシートにお子さまを乗せたまま、椅子の上やテーブルの上、階段近く、自動車の屋根の上などに置かないでください。

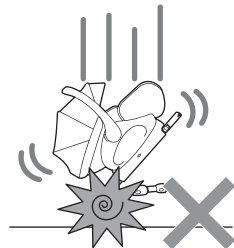


## ⚠️ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

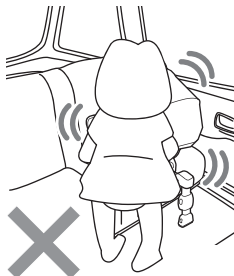
### 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、安全に機能しなくなっている可能性があります。また、その他の事由で破損したり、部品が欠落した場合も使用しないでください。



### 走行前には、毎回、チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

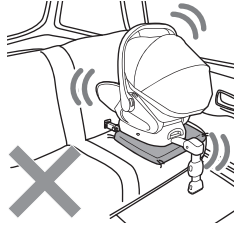
他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートが自動車の座席に正しく取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

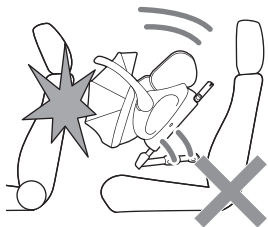
本製品を正しく取り付けた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



## 警告

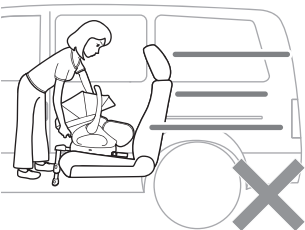
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと  
 お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



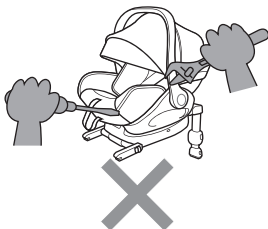
### 走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



### チャイルドシートの分解、改造をしないこと

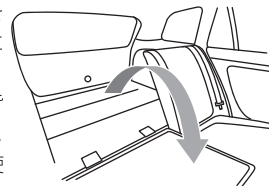
チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。



## 警告

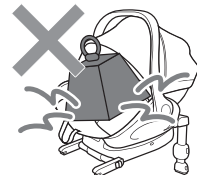
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること  
 自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドシートに重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



### 部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートのカバーやパッド、クッション類なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

### 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



### 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

#### 製造より5年を経過した本製品を使用しないこと

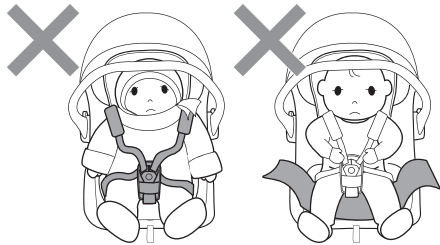
経年の劣化により、本製品が安全に機能できなくなっているおそれがありますので、製造から5年を経過した本製品を使用しないでください。ただし、直射日光に長期間さらされていたり、事故や衝撃を受けた場合には、製造から5年を経過していても、本製品が安全に機能できなくなる場合もありますので、これらの場合も使用しないようにしてください。

#### 不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、サイズの大きすぎる着衣、またベビーモード、トドラーモードでの使用時には、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。

厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。

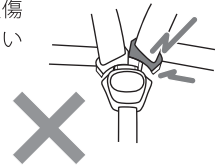


### 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

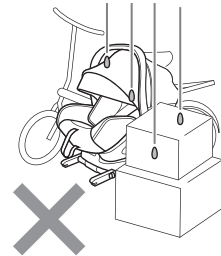
#### バックル、ハーネスに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



#### 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



#### お子さまを常にハーネスで固定しておくこと

お子さまが落下するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品を、キャリアとして使用する場合など、チャイルドシートとしての使用に限らず、本製品のベビーシートにお子さまを乗せる際は、常にハーネスを正しく調整してバックルを留めておいてください。また、使用中は適宜、ハーネスの状態を確認するようにしてください。

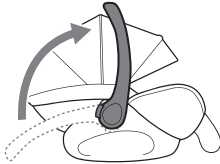


## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ベビーシートを持ち上げる際にはキャリアハンドルの状態を確認すること

ISO-FIX ベースへの着脱や、キャリアとして使用する場合など、ベビーシートを持ち上げる場合は、お子さまが正しく調整されたハーネスで固定されてバックルがしっかりと留まっていることを確認した上で、キャリアハンドルが、キャリアポジション（垂直）で確実に固定されていることを確認してから持ち上げるようにしてください。



ISO-FIX ベースシートごとベビーシートを持ち上げないこと

ベビーシートを持ち上げる場合、お子さまがベビーシートに乗っていない場合でも、ISO-FIX ベースからベビーシートを取り外してから、持ち上げるようにしてください。ISO-FIX ベースごとベビーシートを持ち上げると、キャリアハンドルが破損し、落下するおそれがあります。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品を、当社が指定する所定の目的以外で使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。



## ⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

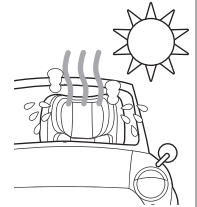
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



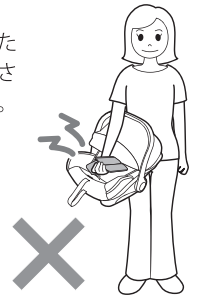
部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ベビーシートを持つ場合、ハーネスなど、キャリアハンドル以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

ベビーシートを持ち上げる際に、ハーネスを持って、生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。





**⚠ 注意**

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

**取り付けする場所に注意すること**

ドアに挟まれない座席に取り付けてください。あらかじめ本製品を取り付けた上で挟まれたり、ぶつかったりしないことを確認してから使用するようにしてください。可動式の座席の場合は、移動しても挟まれたり、ぶつかったりしないが確認するようにしてください。

**長時間連続して使用しないこと**

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

**使用しない場合は、本製品を取り外しておくこと**

通常使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにしておかないでください。

**お子さまから目を離さないこと**

本製品の使用中に限らず、本製品とお子さまを一緒に放置しないでください。必ず保護者の方の監視のもとにおいてください。

**適切な方法でお手入れすること**

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、潤滑油、潤滑剤を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

**⚠ 注意**

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

**トランクに保管する場合には他の物を乗せないこと**

本製品や乗せた物が破損するおそれがあります。本製品を自動車のトランクに収納する場合、本製品の上に他の物を乗せないでください。

**疑問点がある場合はそのままにせずにご相談ください**

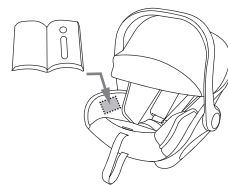
使用方法、取り付けかた、メンテナンスに関する疑問や、部品交換に関しては、お買い求めいただいた販売店か、本書巻末の保証書に記載のお客様センターまでお問い合わせください。

**ISO-FIX に関わる部位、部品を常に清潔に保つようにしてください**

ほこりや、よごれ、食べかすなどが付着すると、確実な固定ができなくなるおそれがあります。自動車の ISO-FIX 固定バー、本製品の ISO-FIX コネクタ、ISO-FIX ガイドが汚れていないが常に点検し、必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。

**重要！****本書はベビーシートのカバー内に常に保管しておくこと**

必要なときにいつでも参照できるよう、本製品のベビーシートのカバー内に常備しておいてください。



参照 P75 ▶ポイント

## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時にはあわてずに、バックルボタンを押し下げてハーネスを外して、速やかにお子さまを脱出させてください。

この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

お子さまがケガをした場合には、速やかに応急処置を施し、治療するようにしてください。

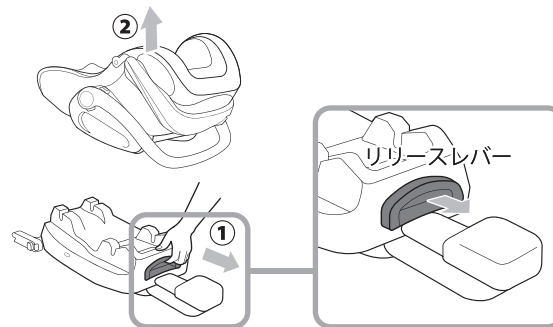
また、外観上はケガがない場合でも、衝撃を受けている可能性がありますので、医師の診断を受けるようにしてください。



## 最初に操作してください

ご購入時、ベビーシートは ISO-FIX ベースに取り付けられています。箱から取り出したら、最初にベビーシートを ISO-FOX ベースから取り外してください。

① ISO-FIX ベースのリリースレバーを手前に引いて、②ベビーシートを引き上げて取り外します。



## ベビーシートの使いかた

### ベビーシートとは

ベビーシートは、ISO-FIX ベースに取り付けてチャイルドシートとして使用するほか、ベビーキャリア、ベビーチェアとして使用することができます。

また、当社が指定するベビーカーのシートとして、ベビーカーのフレームに取り付けて使用することができます。

### ⚠危険

**ベビーシートのみでチャイルドシートとして使用することはできません**

ベビーシートは、ISO-FIX ベースに取り付けた状態でのみ、チャイルドシートとして使用することができます。ベビーシート単体では、チャイルドシートとして使用することはできません。

**当社が指定するベース（チャイルドシート用ベース）、ベビーカーのフレーム以外にベビーシートを取り付けて使用しないこと**

ベビーシートは、本製品の ISO-FIX ベースまたは、当社が取り付け使用可能と指定するチャイルドシート用ベースやベビーカー以外に取り付けて使用しないでください。使用中に、ベビーシートが、これらのベース、チャイルドシート用ベースから外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ⚠警告

**高さのある場所で使用しないこと**

ベビーシートを、ベビーチェアとして使用する場合は、安定した安全な床面の上で使用してください。椅子の上、テーブルの上、階段の近くなど、落下すると危険のある場所では絶対に使用しないでください。

### ⚠警告

**ベビーベッドとしては使用しないこと**

ベビーシートは、お子さまが睡眠をとるためのベビーベッドとして使用することはできません。

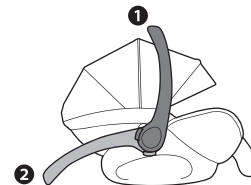
本製品は、必ず保護者の方の監視のもとで使用してください。

また、本製品の使用中に限らず、本製品とお子さまを一緒に放置しないでください。

### キャリアハンドル

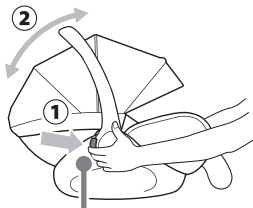
キャリアハンドルは、2段階で調整することができます。使用する目的に合わせて調整してください。

- ①チャイルドシートポジション（キャリアポジション）
- ②チェアポジション



## 01

キャリアハンドルの左右の根元にある①ハンドルボタンを左右とも押し、②キャリアハンドルを調整したい方向に動かします。



ハンドルボタン

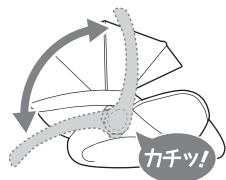
### ⚠️ 注意

ハンドルボタンは左右とも押してください

片方だけハンドルボタンを押した状態でキャリアハンドルを調整することはできません。左右同時に押して、操作するようにしてください。

## 02

目的の位置（2段階のいずれか）で、カチッと音がして、キャリアハンドルが固定されたことを確認します。



### 👉 ポイント!

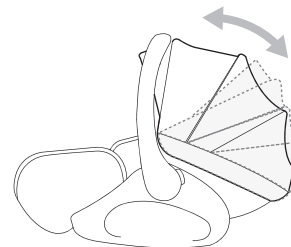
本製品では、おさまにより快適にお使いいただくため、大型のキャンピートを装備しています。キャリアハンドルの操作時に、キャンピートとキャリアハンドルが干渉する場合がありますので、ゆっくりと操作してください。

## キャンपीー

### 開閉操作

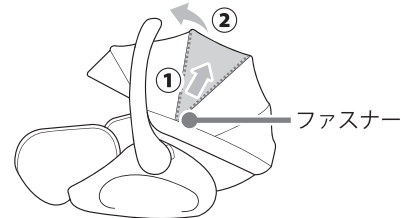
キャンピーは、開閉することができます。日光の状態に応じて、最適な状態にしてください。

キャンピーの先端を持ち、前後に動かして、開閉します。



### 拡張

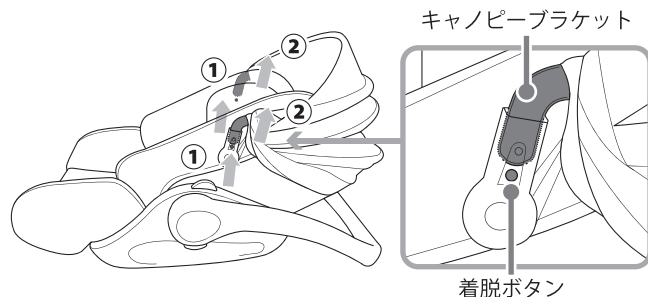
キャンピーの①ファスナーを開けると、②キャンピーのサイズを拡張することができます。サイズを戻すには、ファスナーを閉じてください。



## 取り外し／取り付け

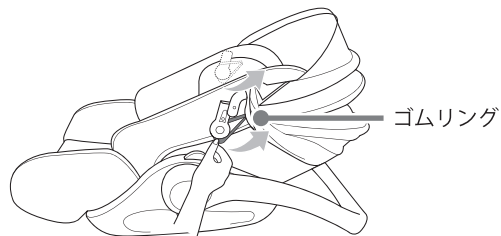
### 01

キャンピの根元にある、①着脱ボタンを押し、②キャンピーブラケットを引き上げて、外しておきます。この時点ではキャンピーを取り外すことはできません。左右とも同じように外しておいてください。



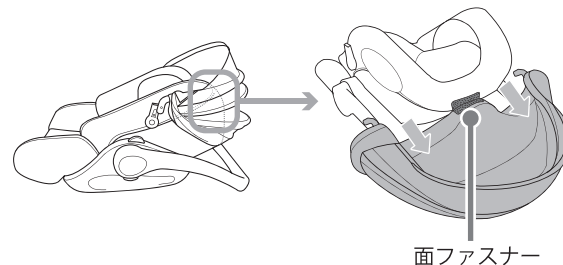
### 02

キャンピーマウントに掛けられているゴムリングを外します。左右とも同じようにしてください。



### 03

ベビーシートの後部（お子さまの頭部側）の面ファスナーを外して、キャンピーを取り外します。



### 04

取り付けは、逆の手順で行ってください。

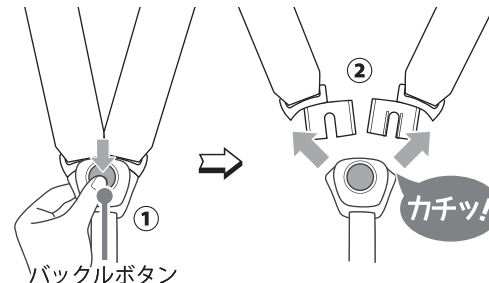
## バックル

### ポイント！

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

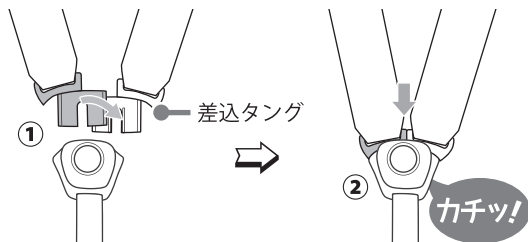
### 01

バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。



## 02

バックルを留めるには、①左の差込タングの上に右の差込タングを重ねて、そのまま②受けバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。



## ⚠ 危険

## バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

## ⚠ 警告

## ハーネスにねじれがないようにすること

ハーネス（肩ベルト）にねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、お子さまがケガをするおそれがあります。

## ⚠ 注意

## バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

## ハーネス

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスの長さを調節します。

## ⚠ 危険

## 肩ベルトの長さは適切に調節すること

肩ベルトは、必ず、適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

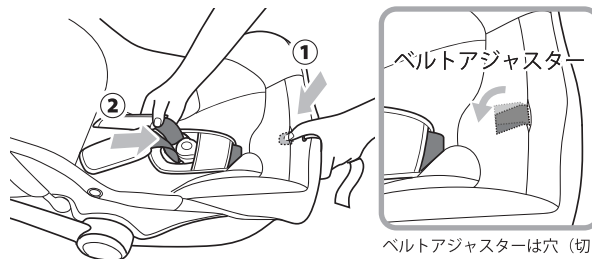
## ⚠ 注意

## 肩ベルトは左右同じ長さに調節すること

左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右の肩ベルトを同じ長さに調整してください。

## 01

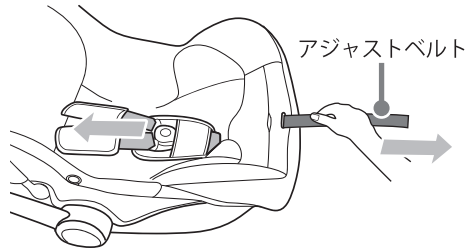
ハーネス（肩ベルト）をゆるめるには、①シエルの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

02

ハーネス（肩ベルト）を締めるには、アジャストベルトを手前に引きます。



### 👉ポイント！

お子さまを乗せて肩ベルトを締める場合、アジャストベルトはゆっくりと引くようにしてください。

## ヘッドレスト・ハーネス（肩ベルト）の高さ調節

ベビーシートのヘッドレストの高さを調節すると、ハーネスの高さも連動して調節されます。お子さまの成長に合わせて、高さを適切に調節してください。

### ⚠️危険

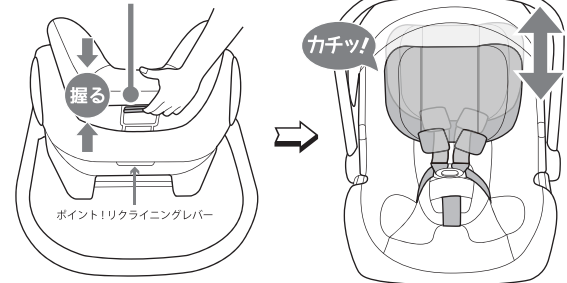
#### ハーネス（肩ベルト）の高さは適切に調節すること

ハーネス（肩ベルト）の高さは、お子さまの体格、月齢に合わせ、必ず、適切な高さに調節してください。ハーネスの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

01

ヘッドレストにあるアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。

### ヘッドレストアジャストレバー



#### 後ろから見た状態

※イラストはキャノピーがない状態を表示してあります。

#### 前から見た状態

### 👉ポイント！

リクライニングレバーと間違わないようにしてください。リクライニングレバーは、ヘッドレストアジャストレバーの下側にあります。

## 新生児パッド

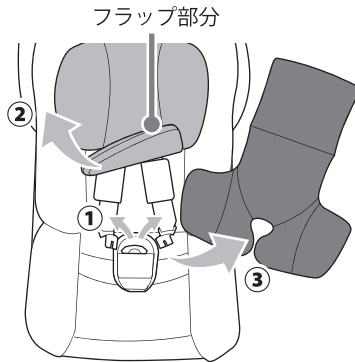
お子さまが成長し、ヘッドレストを最も高く調整しても、お子さまの肩の高さが適切にできなくなったら、新生児パッドを取り外してください。それまでの間は、新生児パッドは必ず取り付けで使用してください。

### 👉ポイント！

ご購入時には、新生児パッドは取り付けられています。

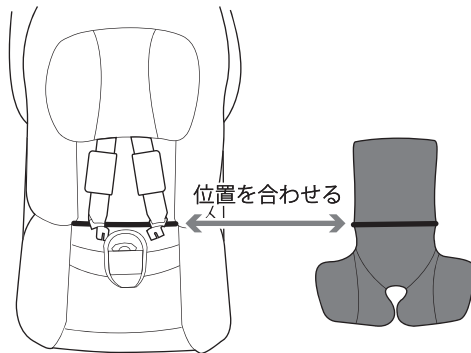
## 01

取り外すには、①バックルを外して、②ヘッドレストのフラップ部分を上にめくって、③新生児パッドを抜き取ります。



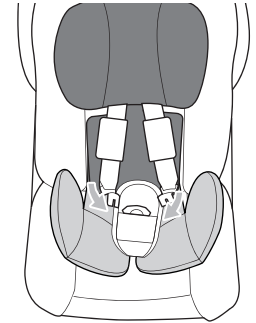
## 02

取り付けは、逆の手順で行います。新生児パッドの折れ目の部分を、ベビーシートの背もたれと座面の境目の位置に合わせて乗せます。



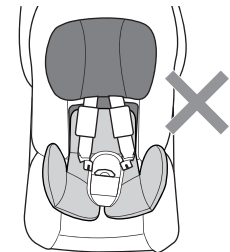
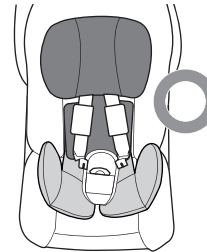
## 03

ヘッドレストのフラップ部分を、新生児パッドに被せて、バックルを留めます。



**警告**

ヘッドレストのフラップ部分を新生児パッドの上に被せること  
ヘッドレストのフラップ部分が、新生児パッドの下側にあると、お子さまの姿勢を正しく保持できないおそれがあります。



**警告**

ヘッドレストの高さを調整しても適切な高さに調整できなくなるまでは、新生児パッドを使用すること  
新生児パッドは、月齢の低いお子さまの姿勢を正しく保持する目的で使用します。ヘッドレストをお子さまの肩の高さに合わせて、適切に調整できなくなった場合は、取り外してください。



## リクライニング

お子さまが一人でおすわりできるようになったら（生後7ヵ月頃）、リクライニングを立てて使用することができます。

### 警告

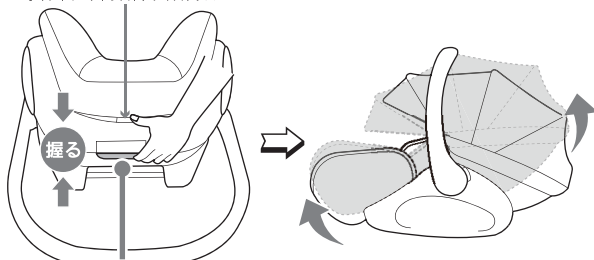
一人でおすわりできるようになるまでは、リクライニングは倒した状態で使用すること

お子さまの首が安定せず、頭部が傾くなどして窒息するおそれがあります。お子さまが一人でおすわりできるようになるまでは、リクライニングを倒した状態でご使用ください。

#### 01

リクライニングを立てるには、ベビーシートの背もたれ上部にあるリクライニングレバーを握り背もたれを持ち上げます。座部も連動して動きます。

ポイント！ヘッドレストアジャストレバー



リクライニングレバー

後ろから見た状態

横から見た状態

※イラストはキャノピーがない状態で表示してあります。

### ポイント！

ヘッドレストアジャストレバーと間違わないようにしてください。ヘッドレストアジャストレバーは、リクライニングレバーの上側にあります。

#### 02

リクライニングを倒す場合は、リクライニングレバーを握り背もたれを倒します。座部も連動して動きます。

### ISO-FIX ベースのシート（座席）への取り付け / 取り外し

#### 取り付けかた

ベビーシートが、ISO-FIX ベースに取り付けられている場合は、あらかじめ取り外しておきます。

参照 P35 ▶最初に操作してください

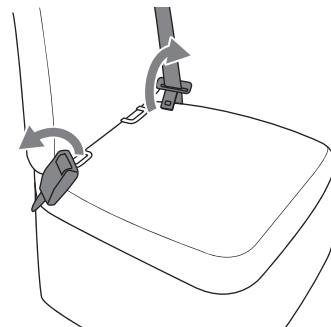
### 警告

ISO-FIX ベースとベビーシートが取り付けられた状態で、シート（座席）への取り付け、取り外しをしないこと

思わぬ事故につながるおそれがあります。特に、お子さまを乗せたベビーシートに ISO-FIX ベースを取り付けた状態で、シートへの取り付け、取り外しは、絶対に行わないでください。

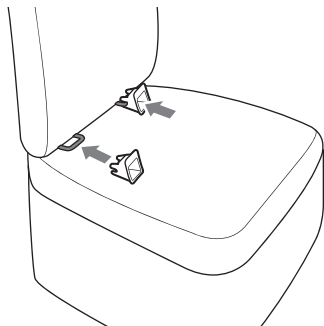
#### 01

自動車シートベルトは、邪魔にならないように外側に出しておきます。自動車タンクや自動車バックルの上に ISO-FIX ベースを乗せないようにしてください。



## 02

ISO-FIX ガイドを、シートの ISO-FIX 固定バーに差し込みます。



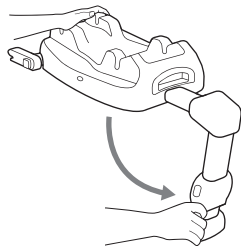
**ポイント!**

ISO-FIX 固定バーは、座面と背もたれの間奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISO-FIX 固定バーが見えますので、その状態で ISO-FIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISO-FIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、ISO-FIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISO-FIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISO-FIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

## 03

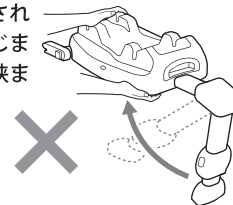
サポートレッグを、固定されるまで開きます。



**注意**

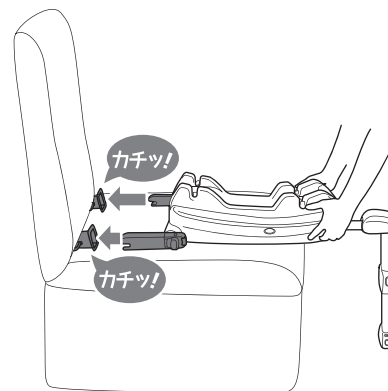
サポートレッグで手や指を挟まれないように注意してください

サポートレッグは開いた状態で簡易に固定されます。傾けたりするとサポートレッグが閉じますので、閉じるサポートレッグに手や指を挟まれないように注意してください。



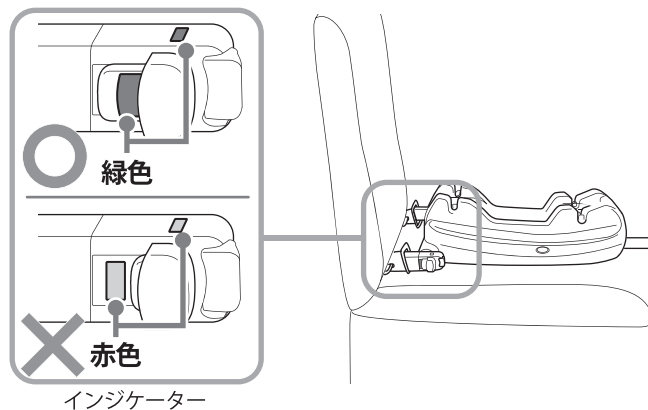
## 04

ISO-FIX ベースを、シート座面の上に置き、左右の ISO-FIX コネクターを、それぞれカチッと音がして ISO-FIX 固定バーに固定されるまで ISO-FIX ガイドに差し込みます。



## 05

左右の ISO-FIX コネクタのインジケータが両方（合計 4 カ所）とも緑色になっていることを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。いずれか一つでも緑色になっていない場合は、一度取り外してもう一度差し込み直してください。

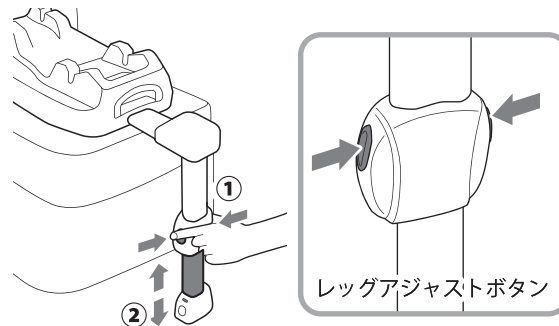


**ポイント！**

ISO-FIX コネクタのインジケータを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。  
また、ISO-FIX コネクタのインジケータが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。

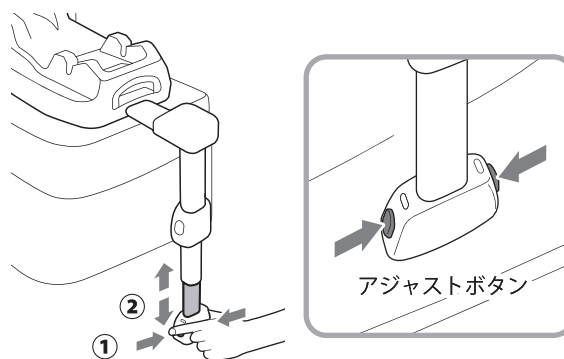
## 06

サポートレッグ中間の①レッグアジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを調節してサポートレッグの先端が床面に接するようにします。



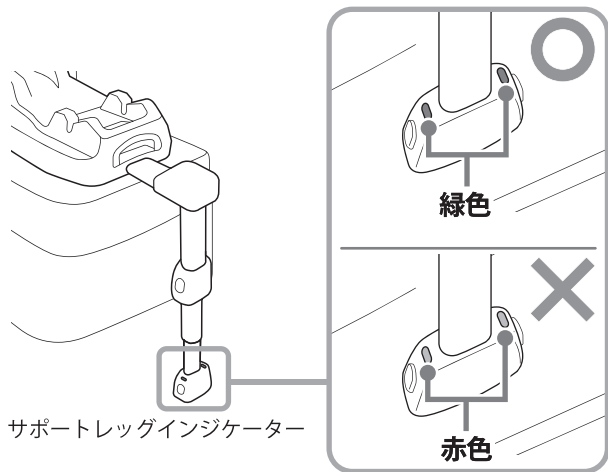
## 07

サポートレッグ先端の①アジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを微調節してサポートレッグの先端が床面に完全に接するようにします。



08

サポートレッグインジケータが完全に緑色になっていることを確認します。サポートレッグインジケータが左右とも完全に緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。



### ⚠ 危険

**サポートレッグインジケータが左右とも完全に緑色になっていること**

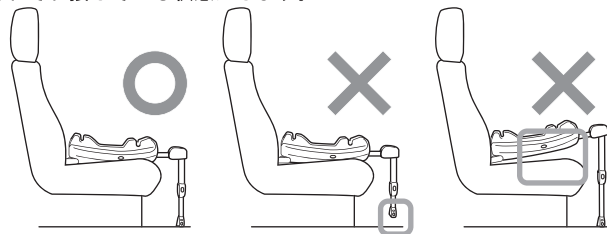
サポートレッグが正しく床面に接地すると、サポートレッグインジケータは左右とも緑色になります。赤色の場合や赤色と緑色が両方表示されている場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケータが左右とも完全に緑色になるようにしてください。

**サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと**

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

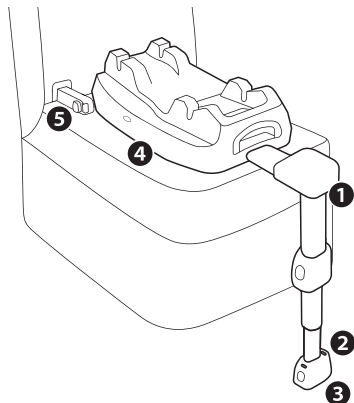
**ISO-FIX ベースを自動車のシート座面から浮かせないこと**

サポートレッグを調節する際に、本製品の底面が座面から浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。



## 09

最後にチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



## チェックリスト

- ① サポートレッグが完全に開いていること。
- ② サポートレッグの先端が床面に接し、サポートレッグインジケータが左右とも完全に緑色になっていること。
- ③ サポートレッグの接する床面が安定していること。また、サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
- ④ 本製品の底面が座面に接していること。
- ⑤ ISO-FIX コネクタが ISO-FIX 固定バーに固定され、ISO-FIX インジケータが左右とも完全に緑色になっていること。

## 警告

## ISO-FIX ベースのみで使用しないこと

本製品は、ISO-FIX ベースに、ベビーシートを取り付けて使用します。

ISO-FIX ベースのみでは使用することができません。また、ケガをしたり本製品が破損したりするおそれがありますので、大人の方でも、ISO-FIX ベースの上には、座らないようにしてください。



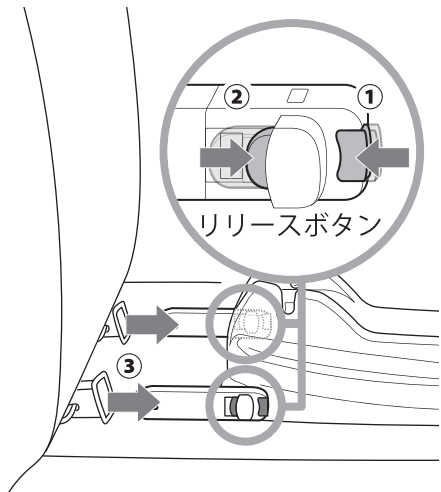
ISO-FIX ベースに本製品のベビーシート以外を取り付けないこと  
当社より別段の指示がない限りは、ISO-FIX ベースに本製品ベビーシート以外のチャイルドシート（シェル）、インファントシート、キャリアコット等を取り付けて使用しないでください。

## 取り外しかた

### 01

ISO-FIX コネクタはダブルロック構造になっています。左右の ISO-FIX コネクタを同時に操作してください。

①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタンを押してロックを解除して、③ ISO-FIX 固定バーから抜きます。



リリースボタン

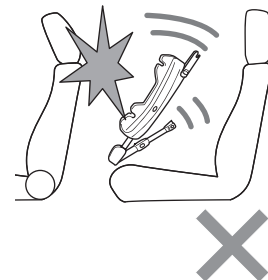
### 👉 ポイント!

ISO-FIX コネクタは左右同時に操作してください。片方ずつ取り外すことはできません。

### ⚠️ 警告

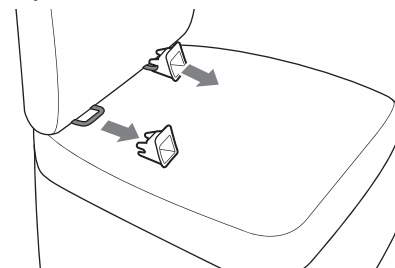
座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと

座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。また、ベビーシートも同様に取り外した場合には車外に出しておきます。ISO-FIX ベースやベビーシートが正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



### 02

ISO-FIX ガイドを取り外します。ISO-FIX ガイドをなくさないよう、大切に保管してください。



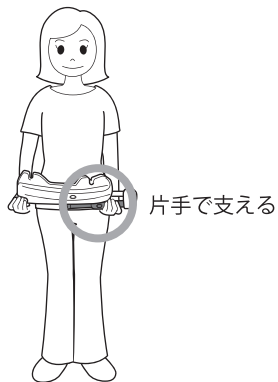
### ⚠️ 注意

ISO-FIX ガイドを取り外しておくこと

ISO-FIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISO-FIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

## 03

サポートレッグは、本体内に格納された状態で完全には固定されませんので、**サポートレッグを下から支える**ようにして持ち、車外に取り出します。



## ベビーシートの取り付け / 取り外し

## 取り付けかた

## 01

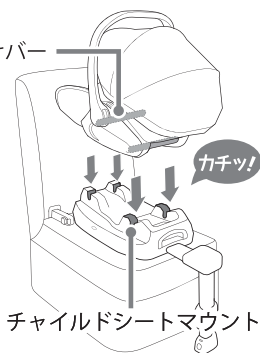
キャリーハンドルを、チャイルドシートポジションにしておきます。

参照 P37~38 ▶キャリーハンドル

## 02

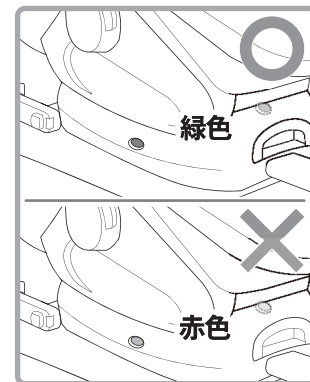
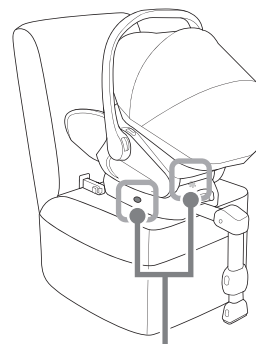
ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウントに、ベビーシートの取り付けバーの位置を合わせて本製品を乗せます。カチッと音がして固定されるまで差し込んでください。

取り付けバー



## 03

ISO-FIX ベースの左右のインジケータが両方とも完全に緑色になっていることを確認します。両方、またはいずれか一方でも赤色の部分が見えている場合には、ベビーシートが正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。



インジケータ

## 04

軽くベビーシートを動かして、確実に ISO-FIX ベースに固定されている事を確認してください。

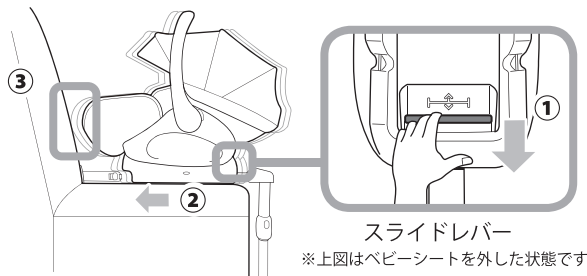
## ⚠危険

## インジケータが赤色のまま使用しないこと

ISO-FIX ベースのインジケータは、ISO-FIX ベースにベビーシートが正しく固定されている事を確認するためのものです。両方の場合はもちろん2つのインジケータのいずれか一方でも完全に緑色になっていない場合、そのまま使用してはいけません。

## 04

ISO-FIX ベースの前側にある、①スライドレバーを握り、②ベビーシートを自動車のシート（座席）の背もたれに押し込みます。③ベビーシートの先端が、シート（座席）の背もたれに接するようにしてください。



**ポイント！**

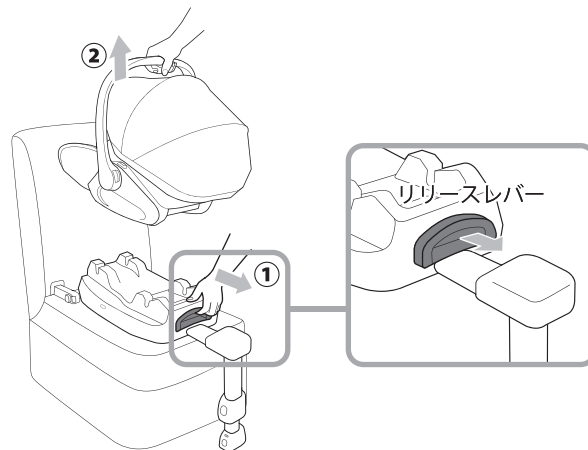
スライドレバーを握ると、ベビーシートのみが前後に動きます。ISO-FIX ベースは動きません。

ベビーシートを押し込みすぎた場合は、同様にスライドレバーを握り、ベビーシートを後ろに下げてください。

## 取り外しかた

## 01

キャリーハンドルがチャイルドシートポジションで固定されていることを確認して、① ISO-FIX ベースのリリースレバーを手前に引いて、②ベビーシートをまっすぐに引き上げて取り外します。





## お子さまの乗せかた

### ベビーシートの調整

実際にお子さまを乗せて使用する前に、お子さまの月齢、着衣の状況に合わせて、ベビーシートの各部を調整します。

お子さまの成長に合わせて、適宜、調整するようにしてください。

### ⚠危険

#### 新生児期には、特に注意して調整を行うこと

本製品の間違った使用は、新生児期のお子さまの場合、事故や衝撃のみならず、平常使用においても、お子さまに重大な影響を与えるおそれがあります。肩ベルトを正しい高さに調整し、新生児パッドを正しく取り付け、リクライニングを寝かせた状態にして使用するようにしてください。

#### 01

新生児パッド、リクライニングを正しく調整します。

参照 P45~P47 ▶新生児パッド

参照 P48~P49 ▶リクライニング

### キャリーハンドルの調整

#### 01

ベビーシート単体（ISO-FIX ベースに取り付けられていない状態）でお子さまを乗せる場合には、キャリーハンドルをチェアポジションに調整します。



参照 P37~38 ▶キャリーハンドル

### ⚠注意

#### ISO-FIX ベースからベビーシートを取り外すこと

ベビーシートが ISO-FIX ベースに取り付けられている場合は、ISO-FIX ベースからベビーシートを取外してください。

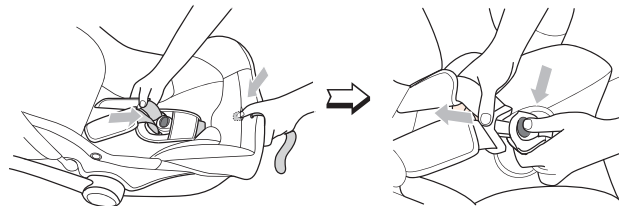
#### キャリーハンドルをチェアポジションに調整すること

キャリーハンドルが、チェアポジション以外に調整されていると、ベビーシートが前後にロックして操作しにくくなります。

### ハーネスの装着

#### 01

あらかじめ、ハーネスを緩めて、バックルを外しておきます。

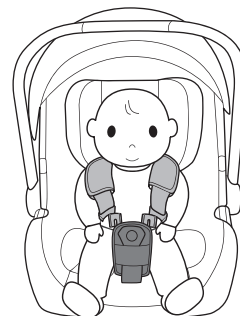


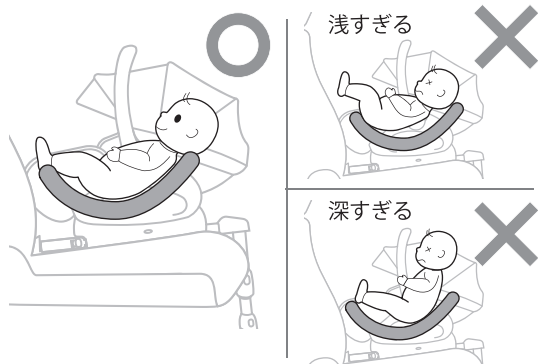
参照 P43 ▶ハーネス-01

参照 P41 ▶バックル-01

#### 02

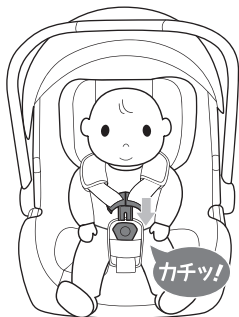
お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、楽な姿勢にして本製品に座らせます。





## 03

ハーネスが緩められていることを確認して、バックルを留めます。



参照 P42 ▶バックル-02

**ポイント!**

ハーネスがきつくてバックルが留めにくい場合、肩ベルトをゆるめてください。無理に留めようとしないでください。

**警告**

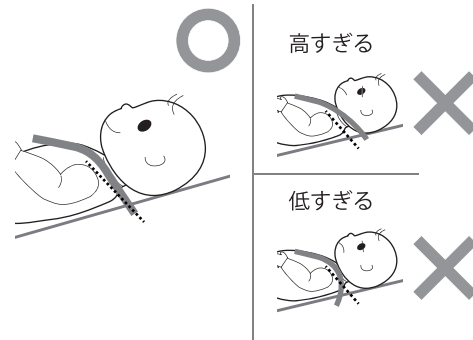
**ハーネスにねじれがないようにすること**

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあるばかりか、お子さまに過剰な負担を掛けたり、ハーネスが外れたりするおそれがあります。

## 04

ヘッドレストの高さを調整し、ハーネス（肩ベルト）を正しい高さにします。肩ベルトの高さを、お子さまの肩の高さと同じ位置に調整してください。

参照 P44~45 ▶ヘッドレスト・ハーネス（肩ベルト）の高さ調節



**危険**

**肩ベルトは正しい高さに調整すること**

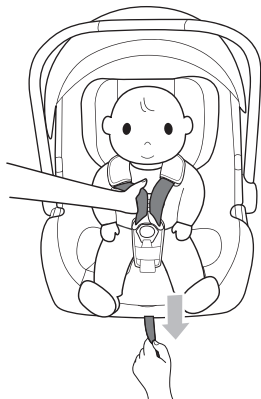
肩ベルトが高すぎたり、低すぎたりすると、事故や衝撃を受けた際に、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。また、平常使用時においても、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

**ポイント!**

肩ベルトの高さを調整すると、ハーネスが締まる場合があります。あらかじめハーネスを緩めておいてください。

**05**

肩ベルトとお子さまの間（お子さまの胸の位置）に、片手の掌を平らに差し込んで、別の手でアジャストベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。**差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間挟まれるまで**、アジャストベルトを締めつけてください。

**危険****ハーネスは適切に締め付けること**

大人の方の掌が入る程度が正しい締め付けの状態です。ハーネスがゆるすぎると、事故や衝撃を受けた際に、ハーネスがお子さまから外れたり、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。ハーネスがきつすぎると、お子さまを圧迫し、負担となります。正しい締め付けの状態で使用するようにしてください。

**警告****アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

ハーネスが勢いよく強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャストベルトは、慎重にゆっくりと操作してください。

**06**

お子さまを降ろすには、バックルを外して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

**警告****お子さまを勢いよく降ろさないこと**

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまの腕が肩ベルトから完全に抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

**お手入れのしかた**

本製品では、お手入れのため、シェルのベビーシートのカバー、パッド類を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

**警告****部品を取り外した状態で使用しないこと**

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。ベビーシートのシートのカバーやパッド類なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

**カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと**

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

## パッド・カバー類の取り外し

### 👉ポイント!

自動車の座席に取り付けたままでは、作業はできません。

### ⚠️注意

#### ゆっくりと作業すること

パッド、カバーなどが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか確認するようにしてください。

また、カバーの下にある衝撃吸収材やウレタン等に傷をつけないように注意してください。

#### 01

ベビーシートを ISO-FIX ベースから取り外します。

参照 P35 ▶最初に操作してください

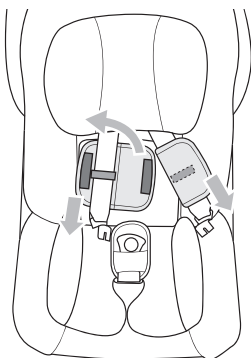
#### 02

ベビーシートからキャノピーを取り外し、キャリアハンドルをチェアポジションに調整します。

参照 P40~P41 ▶キャノピー 取り外し/取り付け

#### 03

肩ベルトパッドの面ファスナーを開き、肩ベルトから抜きます。肩ベルトパッドは、ゴムバンドで肩ベルトに留められています。左右とも取り外してください。



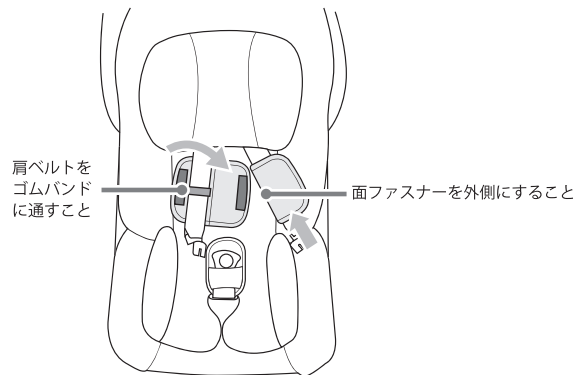
### ⚠️注意

#### 肩ベルトパッドを大切に保管すること

取り外した肩ベルトパッドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

#### 04

肩ベルトパッドの取り付けは、逆の手順で行います。取り付け際には、以下の各点に注意してください。



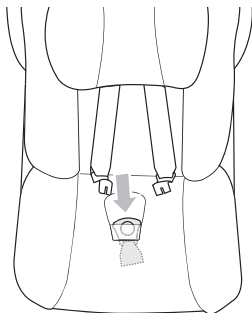
05

新生児パッドを取り外します。

参照 P45~P46 ▶新生児パッド

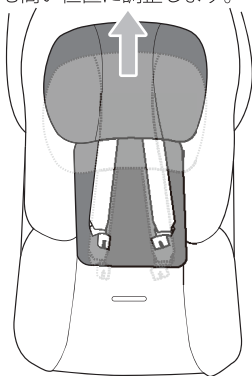
06

股ベルト（受けバックル）を、股ベルトパッドに押し込むようにして抜きます。



07

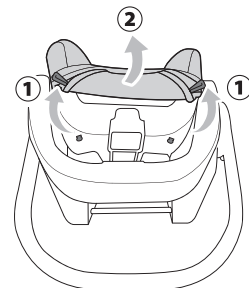
ヘッドレストを、最も高い位置に調整します。



参照 P44~P45 ▶ヘッドレスト・ハーネス（肩ベルト）の高さ調節

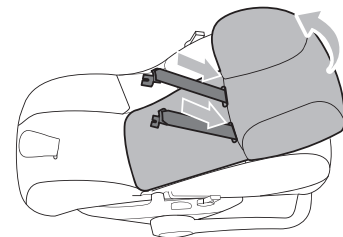
08

ヘッドレスト背面で留められている①左右のゴムバンドを外し、②ヘッドレストのカバーを前方向にめくります。



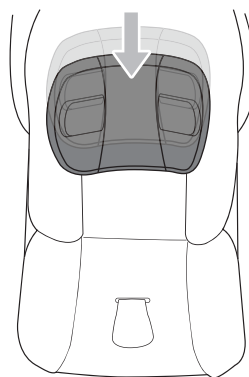
09

ヘッドレストのカバーは、背もたれと一体になっています。そのままカバーを前方にめくり、肩ベルトを取り出し穴から抜いて、カバーを取り外します。



10

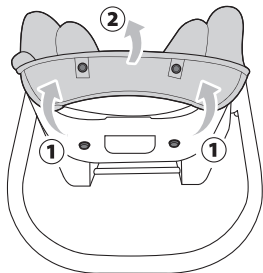
ヘッドレストを、最も低い位置に調整します。



参照 P44~P45 ▶ヘッドレスト・ハーネス（肩ベルト）の高さ調節

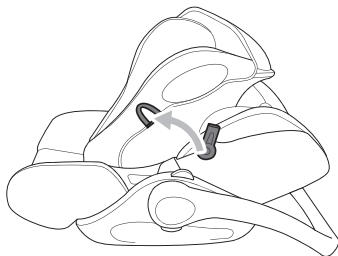
11

シート背面で留められている①左右のホックボタンを外し、シートのカバーを前方向にめくります。



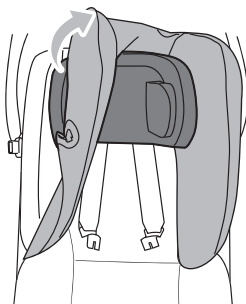
12

シート側面の左右のキャンピーブラケットに掛けられているシートのカバーの取り付け穴を、キャンピーブラケットから取り外します。左右とも取り外してください。



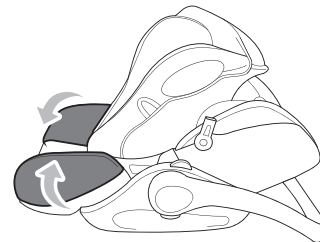
13

シートのカバーをヘッドレストから抜きます。ヘッドレストの衝撃吸収材を傷つけないように注意して抜いてください。



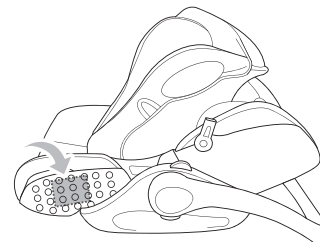
14

シートの座面部分の両側の樹脂のプレートからシートのカバーを取り外します。左右とも同じようにしてください。



**ポイント！**

本書は、左右どちらかの樹脂プレートとシートのカバーの間に入れて保管してください。



15

リクライニングが立っている場合は、倒します。

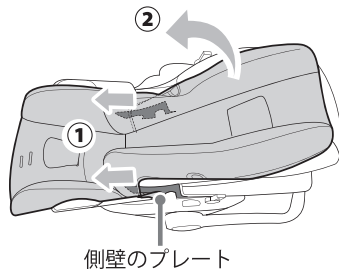
参照 P48~49 ▶リクライニング

**ポイント！**

次の操作は、リクライニングを倒した方がより容易に行えます。

## 16

シートのカバーを、①左右の側壁のプレートから外し、②カバーを取り外します。



## 17

取り付けは、逆の手順で行います。

## パッド・カバー類のお手入れ

取り外した、パッド、カバー類は、以下に従ってお手入れしてください。

### ポイント！

お手入れにより、色落ち、ゆがみ、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

### 注意

#### 指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッド、カバー、パッド類を洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

## 01

以下のパッド、カバー類が洗濯できます。

30℃以下の水で手洗いしてください。

軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

シートのカバー  
ヘッドレストのカバー（背もたれ）  
肩ベルトパッド  
股ベルトパッド  
新生児パッド

### ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

### 注意

#### 洗濯機の使用は避けてください

洗濯機の使用は破損、変形の原因となります。また、重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

#### アイロンは使用しないでください

破損、縮みの原因となります。

#### タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

#### 有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

#### 漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

#### きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

#### ドライクリーニングをしないでください

破損、劣化、縮みの原因となります。

## 樹脂・金属のお手入れ

### ⚠️ 注意

#### 潤滑剤を絶対に使用しないこと

シリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、潤滑効果のある物質を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

### 樹脂部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

### ⚠️ 注意

#### ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないこと

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

### 金属部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

バックル、ISO-FIX コネクタ、ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント、ベビーシートの取り付けバーを除く金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

### ⚠️ 注意

#### 水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

## ISO-FIX コネクタ・ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント・ベビーシートの取り付けバーのお手入れ

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

### 👉 ポイント！

ISO-FIX コネクタ、ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント、ベビーシートの取り付けバーおよび自動車の ISO-FIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

### ⚠️ 危険

#### 絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

これらのお手入れに、潤滑剤、潤滑性のある物質が付着すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。



## ハーネス・バックルのお手入れ

### ⚠危険

#### 絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タンク、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

#### バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

正しく差込タンクを受けバックルに差しても「カチッ」と音がしない、バックルボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

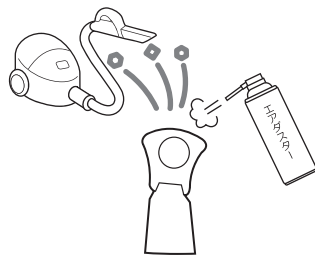
## ハーネス

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

## バックル

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品・使用不可」と明示し、シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。



**Joie**

**Joie**